



福津市長賞

福津市長賞
福間中学校 3年 佐藤 葵さん
税金の役割

先日、私の家に宅配便が届いた。ある自治体からだ。なんだろうと思つて母にたずねてみると、母の出身地にふるさと納

めようということはどういう仕組みなのか色々調べてみようと思つた。

たくさん種類がある税の中の所得税や住民税は、収入に応じて支払う額が決められる。この

税収により、私たちは居住地で行政サービスを受けられる。ところが、地

方と都市部での地域間格差は過疎化などにより大きな問題となつている。ふるさと納税を行えば、都市部に住みながら故郷への恩返しとして住民税を納めることができる。また生まれ育つた故郷でなくても、何らかの貢献をしたいと思う地域を選ぶこともできるぞうだ。

このように、ふるさと納税は税の分散化を行うことができ、町を活性化することに大いに役に立っていると思う。私が見たテレビでも、生産者の方が今までにないくらいの発注を自治体から受けて、忙しくて大変だと

言いながら、とても生き生きと嬉しそうに働いていた。

また調べていくうちに、納めた税金の使い道を選択できる

ことがわかつた。私が感動したのは、大災害の際に義捐目的とみられる多額の寄付がこの制度を利用してされたことである。東日本大震災の時は、発

生から約二カ月で主要被災地の各県だけで前年の全国寄付総額の六倍以上の寄付がされたぞうだ。他にも緊急災害支援や医療支援などを行っている自治体もある。こういった取り組みに共感できる事業を応援できるこの制度は、自らの意志を反映できる素晴らしい機会だと思ふ。

日本各地で日々起きている土砂災害や地震などの自然災害。私が住んでいる福岡県も、二〇〇五年に地震が起き、沿岸地域で大きな被害があつた。

私は四歳だったが、怖くてとても不安だつたということは今でも鮮明に覚えている。そういった時、別の地域に住む人々が税金の寄付という形を取ること

で被災者を助け、災害に強い町づくりができる。

納税することですまれる絆。思いやりを持つということ、本当に素敵だと思ふ。

今回、税のことを調べて初めて、納税してくれる方々がいてくれるお陰で不自由なく安全に暮らすことができるのだと気づくことができた。私も大人になつて納税者になつた時私を育ててくれたふるさとに感謝し役に立てるように、きちんと納税できる社会人になりたいと思ふ。

納税することですまれる絆。思いやりを持つということ、本当に素敵だと思ふ。

税の作文

国税庁と全国納税貯蓄組合連合会が全国の中学生、高校生から「税に関する作文」を募集しました。これは将来を担う中学生、高校生の皆さんに、税について関心を持ち、正しい理解を深めてもらうために実施しています。今回、表彰を受けた優秀な作文の一つを紹介しします。

福津市税務課(福間庁舎) ☎43・8117



福津市長賞
光陵高等学校 1年 久富 愛さん



香椎税務署管内
納税貯蓄組合
連合会会長賞
福間東中学校 3年 安川 つぐみさん



香椎税務署管内
納税貯蓄組合
連合会会長賞
津屋崎中学校 3年 花田 成未さん